

IND-3519-2609

FBKタービン P 32

高級添加タービン油(可燃性液体類)

FBKタービン P 32は、2002年に実施された消防法（危険物）の改正に対応し、引火点250℃以上を有する可燃性液体類に分類される高級添加タービン油です。FBKタービン P 32は、高温高压の蒸気で運転される新鋭火力タービンの潤滑に適した、優れた品質と性能を備えています。原子力タービン、蒸気タービン、ガスタービン、水力タービンなどの各種タービンのほかに各種産業機械の潤滑や油圧作動油としても広く使用することができる高品質の潤滑油です。

●特 長

1. 引火点が250℃以上

FBKタービン P (Plusの略) 32は、250℃以上の引火点を有し、可燃性液体類に分類される商品です。

2. 酸化安定性が優れている

FBKタービン P 32は、過酷な条件下でも長期使用に耐える優れた酸化安定性を有しています。

3. さび止め性が優れている

潤滑油系統に水分が混入すると、系統内にさびを発生させて円滑な運転をおびやかすこととなります。FBKタービン P 32は、その優れたさび止め性能により、長期間の連続使用においても系統内にさびを発生させることはありません。

4. あわ消し性が優れている

潤滑油や油圧作動油のあわ立ちは、油と空気が激しくかきまぜられるか、配管に気密でないところがあって空気が吸入されるか、あるいは油中に溶けていた空気や、その他の気体が急に分離放出されるような条件のときに起こります。したがって、あわ立ちの原因をよく調べて、対策を構ずることが先決ですが、油自体としても発生したあわを速やかに消す性能が望まれます。

FBKタービン P 32は、あわ消し剤を添加してこの性能を強化しており、優れた実用性能を示します。

5. 抗乳化性、水分離性が良い

潤滑油は水分が混入すると乳化を起こし運転を不安定にすることがあるため、実用面で乳化しにくく、混入水分が分離しやすい油が望まれます。

FBKタービン P 32は、優れた水分離性能を有しているため、混入水分による乳化トラブルを抑制します。

6. 粘度・温度特性および低温特性が良い

FBKタービン P 32は、温度による粘度の変化が小さく、流動点も低いので、油圧作動油としても極めて優れた性能を示します。

●可燃性液体類のお取扱いに関わる注意事項

①危険物の屋内又は屋外貯蔵所に同時貯蔵する場合、原則として危険物と可燃性液体類のそれぞれを取りまとめて、相互に1m以上の間隔を置いて貯蔵する必要があります。

②可燃性液体類は、数量2立方メートル(2,000リットル)以上で「指定可燃物」となり市町村条例の規制を受けます。

●用 途

FBKタービン P 32は、次のような各種の産業用機械の潤滑に広く使用することができます。

- (1) 原子力タービン、蒸気タービン、ガスタービンおよび水力タービン
- (2) 各種の発電機および電動機
- (3) 中・小型圧縮機・送風機およびポンプ類
- (4) 軽荷重歯車減速機・工作機械・その他各種産業機械
- (5) 各種油圧装置

●荷 姿

200ℓドラム

●FBKタービン P 32の代表性状

ISO VG			32
色	(ASTM)		L0.5
密度	(15℃)	g/cm ³	0.8387
動粘度	(40℃)	mm ² /s	34.45
動粘度	(100℃)	mm ² /s	6.385
粘度指数			139
酸価		mgKOH/g	0.06
引火点	(COC)	℃	254
流動点		℃	-20.0
さび止め性	(人工海水, 60℃, 24h)		さびなし
抗乳化性	(54℃, 40-37-3mlになる時間)	min	10
銅板腐食	(100℃, 3h)		1
消防法危険物分類			可燃性液体類

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変わる場合があります。(2026年9月)

● 取扱い上の注意

- ・ 本商品の取り扱いについては、当該油種の安全データシート（SDS）および容器に記入の取り扱い注意事項をご熟読の上、ご利用願います。
- ・ 安全データシート（SDS）は、商品購入先にご用命願います。
なお、弊社ホームページから閲覧可能です。
- ・ 掲載の性状、性能等は弊社試験方法による測定値や知見であり、正確さや完全さを保証するものではありません。予告なく変更することがあります。